

令和4年度入学料納付猶予申請要項

- 免除申請にあたっては、本要項を熟読し、十分理解した上で、事実に基づき記入すること。
- 「入学料免除」申請は、必ずしも「全額免除」が許可されるとは限りません。「入学料免除」の「不許可」、「半額免除」の通知を受けた際に、すぐに入学料を納めることが困難な場合は、「入学料納付猶予」を申請することで入学料納付を8月末日まで猶予することが許可される場合があります。免除申請者で納付猶予が必要な場合は、「入学料免除願」を提出する際に「入学料納付猶予願」も併せて提出すること。（審査の結果、ともに不許可となることもあります。）
- 学部学生（私費外国人留学生を除く。）のうち、高等教育の修学支援新制度により、高等学校等で日本学生支援機構の給付奨学金採用候補者となった者及び入学後に本制度申請を希望する場合は、「入学料納付猶予願」を提出する必要があります。本制度の減免額が決定するまで納付を猶予することが許可されます。

提出期限を過ぎたものは一切受付しません。また、免除担当から期限を付して請求した不足書類を期限までに提出しない場合は選考から除外します。

1. 提出期限

令和4年4月5日（火）17:00まで

- ※郵送の場合は、提出期限日以前の日本国内の郵便局の消印のある特定記録郵便のみ受付します。
- ※郵送の際は角形2号の封筒の表に「入学料納付猶予申請書類在中」と記入し、裏面には申請者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
(入学手続システムを利用しない場合、申請書類同封の提出用封筒で提出してください。)

2. 送付先（免除担当窓口への持参も認める）

- ・全学部入学者及び大学院入学者（総合医薬学研究科、医薬理工学環、医学薬学教育部を除く）
富山大学学務部学生支援課授業料免除担当
〒930-8555 富山市五福 3190 TEL (076) 445-6087 FAX (076) 445-6092
- ・大学院のうち総合医薬学研究科、医薬理工学環（メディカルデザインプログラムを除く）、医学薬学教育部入学者
富山大学医薬系学務課授業料免除担当
〒930-0194 富山市杉谷 2630 TEL (076) 434-7130 FAX (076) 434-4545

3. 申請の流れ

①入学手続システムを利用しない大学院生・編入生

申請書類を郵送で受取 → 必要な書類を揃える → 期日厳守の上、大学へ提出 → 申請受付

②入学手続システムを利用する大学院生・学部生（編入生を除く）

- ・大学院生は入学手続特設ページより申請書類をダウンロード
- ・学部生は本学ウェブサイトより申請書類をダウンロード

（トップページ→教育・学生支援→経済的支援→修学支援新制度）

→ 必要な書類を揃える → 期日厳守の上（角形2号の封筒に入れ）大学へ提出 → 申請受付
→ 結果通知用封筒の作成（時期はヘルンシステム（本学の学務情報システム）で通知します）

【その後の流れ】 ※①②全員共通

不備・不足書類の連絡および再提出 → 選考・決定 → 申請者に選考結果を通知（6月中旬頃を予定） → （一部免除者・不許可者のみ）決定月の月末（納付猶予許可者は8月末）までに入学料を納付

※不足書類がある場合は連絡をすることがありますので、担当からの電話には必ず対応してください。

4. 提出書類

①から③及び⑦は本学所定の様式を使用し、提出書類に不足がないか「送付書」で確認の上、角形2号の封筒（入学手続システムを利用しない場合、申請書類同封の提出用封筒）に入れて、特定記録郵便で郵送すること。

- ① 入学料免除願，入学料納付猶予願
- ② 家庭調書
- ③ アルバイト・奨学金状況調
- ④ **所得課税証明書**（市区役所又は町村役場で交付を受けたもの）
- ⑤ 源泉徴収票，確定申告書，その他所得関係書類
- ⑥ 結果通知用封筒（本学所定の封筒に送付先を明記し，120円分の切手を貼付。学籍番号は記入不要）

※入学手続システムを利用する入学者は，入学後，免除担当から結果通知用封筒の作成を依頼します。ヘルプシステム（本学の学務情報システム）で通知しますので，通知を見落とさないようにしてください。

- ⑦ 令和4年度入学料免除申請にかかる事情説明書（私費外国人留学生のみ）

5. 注意事項

- (1) 入学料免除・納付猶予の許可の決定までは，入学料を納付しないこと。
- (2) 提出された書類は返却，閲覧，貸出に応じないので提出前に自分でコピーすること。また，本学から免除に関して連絡をすることがあるので，**免除担当の連絡先を登録し，担当からの電話には必ず対応すること。連絡が取れない場合は，選考から除外します。**
- (3) 記入した字句等を修正する場合は，修正液（テープ）等を使用せず，必ず訂正箇所にも二重線を引き，訂正印を押すこと。※消えないボールペンで記入してください。
- (4) **提出時に学籍番号が不明な場合は，学籍番号記入欄は全て空欄で提出すること。**なお，受験番号の記入を指示している部分は，忘れずに記入すること。
- (5) 「長期療養者にかかる控除申請書」，「主たる家計支持者別居にかかる控除申請書」は，本学ウェブサイトよりダウンロードすること。提出がない場合，控除しません。（トップページ→教育・学生支援→経済的支援→授業料・入学料免除）
- (6) 入学料免除・納付猶予申請を辞退する場合は，「入学料免除（納付猶予）願」，結果通知用封筒（120円分の切手を貼付したもの）及び「辞退届」を記入のうえ，免除担当窓口へ提出すること。
- (7) 申請書類等に虚偽の事実が判明した場合は申請無効とし，富山大学授業料免除及び徴収猶予に関する内規第17条により免除を取り消します。
- (8) 提出された書類に含まれる個人情報，入学料免除者の選考及び調査並びに学生支援業務以外には使用しません。

【各キャンパス免除担当窓口】 ※電話番号を必ず登録し，着信があった場合は折り返すこと。

五福：学生支援課 TEL 076-445-6087

杉谷：医薬系学務課学生支援チーム TEL 076-434-7130

高岡：芸術系総務・学務課学務チーム TEL 0766-25-9131

C 特別控除額表

控除の区分	特 別 の 事 情	特 別 控 除 額	
		自宅通学	自宅外通学
本人を対象とする控除		28万円	72万円
就 学 者 控 除 (予備校・各種学校は 就学者控除の対象と しません)	小学校児童 1 人につき	8万円	
	中学校及び中等教育学校の前期課程生徒 1 人につき	16万円	
	国・公立高等学校及び中等教育学校の後期課程生徒 1 人につき	28万円	47万円
	私立高等学校及び中等教育学校の後期課程生徒 1 人につき	41万円	60万円
	国・公立高等専門学校の学生 1 人につき	36万円	55万円
	私立高等専門学校の学生 1 人につき	60万円	80万円
	国・公立大学の学生 1 人につき 科目等履修生・研究生は就学者控除の対象としません	59万円	102万円
	私立大学の学生 1 人につき	101万円	144万円
	国・公立専修学校高等課程生徒 1 人につき	17万円	27万円
	私立専修学校高等課程生徒 1 人につき	37万円	46万円
	国・公立専修学校専門課程生徒 1 人につき	22万円	62万円
	私立専修学校専門課程生徒 1 人につき	72万円	112万円
	国立学校就学者については前年度の授業料免除状況に応じて算出します		
母 子 ・ 父 子 控 除	母子・父子世帯 (母又は父と18歳未満の子(18歳以上でも就学者は含む) 及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)	49万円	
障 害 者 控 除	障害者 1 人につき	86万円	
医 療 費 控 除	療養のため経済的に特別な支出をしている金額		
別 居 控 除	主たる家計支持者が別居のため特別な支出をしている金額で、71万円を限度とする。		
災 害 控 除	日常生活を営むために必要な資材あるいは生活費を得るための基本的な生産手段(田・畑・店舗等)に被害があつて、将来長期にわたって支出増又は収入減になると認められる年間金額		
父母以外の者の所得控除	所得者 1 人につき38万円、その所得が38万円未満は所得額。本人とその配偶者を除く。		

D 収入基準額表

学部等区分	世帯区分		収入基準額
			免除(猶予)対象
学 部	世帯人員	1 人	1,670,000 円
		2 人	2,660,000 円
		3 人	3,060,000 円
		4 人	3,340,000 円
		5 人	3,600,000 円
		6 人	3,780,000 円
		7 人	3,950,000 円
修 士 課 程 博 士 前 期 課 程 専 門 職 学 位 課 程	世帯人員	1 人	1,820,000 円
		2 人	2,900,000 円
		3 人	3,340,000 円
		4 人	3,640,000 円
		5 人	3,930,000 円
		6 人	4,120,000 円
		7 人	4,320,000 円
博 士 課 程 博 士 後 期 課 程	世帯人員	1 人	2,540,000 円
		2 人	4,040,000 円
		3 人	4,670,000 円
		4 人	5,070,000 円
		5 人	5,480,000 円
		6 人	5,740,000 円
		7 人	6,020,000 円
※世帯人員が 7 人を超える場合は、1 人 増すごとに右の金額をそれぞれ世帯人 員 7 人の収入基準額に加算する。	学 部	170,000 円	
	修士・博士前期・専門職学位	200,000 円	
	博士・博士後期	280,000 円	

猶予

入学料納付猶予願の記入例

令和 年 月 日

入学手続の日を記入すること

富 山 大 学 長 殿

学生本人・学資負担者のそれぞれが記入すること。

本	令和 4 年 4 月入学	
	理工学	学部 研究科 学環 教育部
人	学籍番号	記 入 し な い
	住所(〒 930 - 0887) (下宿等) 富山市五福1区〇-〇-〇 富山ハイツ〇号	
	フリガナ 氏名	タテ ヤマ イチ 郎
	(自署)	
学資負担者	住所(〒 〇〇〇 - ΔΔΔΔ) 石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号	
	フリガナ 氏名	タテ ヤマ タ 郎
	(自署)	
本人との続柄		父

私費外国人留学生は学資負担者欄に「本人」を記入すること。

入 学 料 納 付 猶 予 願

下記により令和4年度入学料の延納を受けたいので、学資負担者連署の上お願いします。

記

I 延納方法 令和4年8月31日まで延納
(又は本学が指定する日のうち、いずれか早い日)

II 理由(具体的かつ詳細に記入すること)

入学料納付猶予を申請するに至った家庭事情や、特に説明を記入。(100文字以上, 200文字以内)

入学料納付猶予願は学生本人からの提出書類です。学資負担者の立場で記入してある場合は受理せず、提出書類を返却します。

※白紙の場合は書類不備とします。

学生本人が記入すること。

家庭調書の記入例

家庭調書

令和4年4月1日現在

① 所属	学部 研究科 / 学環 教育部	学科 専攻 プログラム	学籍番号	記入しない						
	フリガナ			通学区分 自宅・自宅外						
② 氏名	令和4年4月時点の現住所を記入 ※転居した場合は申し出ること			過去の授業料免除状況						
	本人住所等 〒 () () () TEL () () () e-mail () () () () () ()			項目 免除結果等 R3年度前期 給・特・特阿・/3・特給 R3年度後期 給・特・特阿・/3・特給						
③ 本人住所等	本人住所等 〒 () () () TEL () () () e-mail () () () () () ()	学資負担者 連絡先 〒 () () () TEL () () () e-mail () () () () () ()								
④ 本人	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先等	所得種別	就職年月 (該当欄に○を記入) R3.1.1以前以降 R3.1.2以降	給与収入 (年額) (千円) 給与以外の所得 (年額) (千円)	給与収入 (年額) (千円)	給与以外の所得 (年額) (千円)
		立山 一郎	22	富山大学 第1学年	コンビニエンスストア (〇〇財団)奨学金 〇〇〇〇店	給与 給与奨学金 営業	○ — —	456 — —	—	360 — 1,484
	父	立山 太郎	50	自営業		不動産				120
	母	立山 花子	50	パート	(株)〇〇〇	給与	○	1,000		
	祖母	立山 春子	80	無職	老齢基礎厚生年金	年金				1,760
	妹	立山 ナツ	18	無職	予備校生					
⑤ 別居	続柄	氏名	年齢	在 学 校 名	学年	通学区分	前年度免除結果 前期 後期 なし /3 半免 全免	授業料 (年額) 千円	申請者の配偶者に所得がある場合のみ記入 勤務先名 (年額) (千円)	就学者 控除 (年額) (千円)
	弟	立山 二郎	19	国立 公立 私立 〇〇大学	2	自宅 自宅外	○ ○ ○ ○	535		
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	なし /3 半免 全免			
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	なし /3 半免 全免			
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	なし /3 半免 全免			
⑧ 臨時所得	氏名 (立山 春子)	本人との続柄 (祖母)	支払金額 (1,000 千円)	算入する						
	退職金・保険金・その他 ()		支払年月日 令和 3 年 11 月 1 日	算入しない						
⑨ 生活保護世帯	生活保護費支給証に記載の被保護者氏名 ()	世帯人員 (名)	千円							
⑩ 主たる家計支持者無職・失業	無職・失業の年月 ()	生活費の出所 ()	千円							
特別控除に関する事項										
⑪ 母子・父子世帯	□生別(平成・令和 年 月) □死別(平成・令和 年 月)(該当する□に✓をつけること。)			該当・非該当						
⑫ 障害者	氏名(〇〇〇〇)	本人との続柄(祖母)	□心身障害 □原爆被爆	人						
⑬ 長期療養者	氏名()	本人との続柄()	□心身障害 □原爆被爆							
⑭ 家計支持者別居	単身赴任等期間(年 月~)	特別に支出している経費	千円	千円						
⑮ 風水害等の災害	災害の内容()	年月被災	被害額	千円						

アルバイトの年額および令和3年4月以降の給付奨学金の年額を記入

15歳以上の無職者(就学者を除く)は、「無職申出書」を提出

高校生以上は在学証明書を提出
ただし、国立学校在学者は「在学状況等証明書」を提出

令和3年1月以降、家族が受け取ったものを記入し、証明できる書類を提出
(例)確定申告書、退職所得の源泉徴収票、保険金の支払通知書 など

最新の保護決定(変更)通知の写を提出

「母子・父子世帯確認書」を提出

障害者手帳の写または障害者年金の通知書の写を提出

申請時において6ヶ月以上の療養期間が対象(控除申請は任意)

「り災証明書」を提出
事前に担当窓口にご相談すること

領収書の写しを添付
(控除申請は任意であり、1年分が限度)

⑭⑮は、控除申請用紙の提出がない場合、控除しません

大学認定(記入)欄	
世帯人員	人
独立生計者	有・無
生活保護世帯	有・無
非課税世帯	有・無
ひとり親	有・無
多子世帯	有・無
Jasso給付	有・無
区分	I・II・III・外・旧

参考資料や送付書を参照

○給与収入・給与以外の所得の記入要領

「給与収入」欄に記入する金額（千円未満切捨）	
給与収入	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月1日以前から継続して勤務している場合 →源泉徴収票の「支払金額」 令和3年1月2日以降に就職・転職（再就職）した場合 →学生支援課が給与支払（見込）証明書（家族用）を確認し、記入します。 令和3年1月1日以降に退職し、無職の場合 →勤務先欄、給与金額とも記入不要
年金等	<ul style="list-style-type: none"> 源泉徴収票の「支払金額」もしくは最新の振込通知書に記載の年額
生活保護	<ul style="list-style-type: none"> 保護決定（変更）通知の額×12（年額を算出）
諸手当	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当→最新の手当額×12（年額を算出） 児童扶養手当、特別児童扶養手当 →最新の手当額×12（年額を算出） 失業給付金→基本手当日額×所定給付日数 傷病手当金→受給分合計額

「給与以外の所得」欄に記入する金額（千円未満切捨）	
給与以外の所得	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年分確定申告書控の第1表のそれぞれの「所得金額」 令和4年度市民税・都道府県民税申告書のそれぞれの「所得金額」
所臨時	<ul style="list-style-type: none"> 退職金 保険の一時金 養育費の年額 親戚等からの援助の年額

・家庭調書に全員を記入
 ・4月1日時点で「別生計」になる者は、健康保険証（写）と住民票を提出
 ※別生計とは、自分で生計を立て、扶養にも入っておらず、かつ自宅と別の住所に住んでいること。

・令和3年1月2日以降就職の場合は、給与支払（見込）証明書 を提出
 ・退職の場合は、退職金等に関する申立書を提出

令和3年分源泉徴収票の例

令和3年分 給与所得の源泉徴収票

石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号

給与・賞与 3,000,000

支払金額 3,000,000

源泉徴収税額 41,000

令和3年1月1日

令和3年分 公的年金等の源泉徴収票

住所または居所 石川県金沢市〇〇町〇丁目〇番〇号

氏名 〇〇〇〇

生年月日 〇〇/〇〇/〇〇

区分	支払金額	源泉徴収税額
法203条の3第1号適用分	円	円
法203条の3第2号適用分	円	円
法203条の3第3号適用分	円	円
法203条の3第4号適用分	1,000,000	円

年金の種類 本人 控除対象配偶者の有無等

特別障害者 特別障害者 特別障害者 特別障害者 有 無 老人控除対象配偶者の有無

控除対象扶養親族の数 本人以外の障害者の数 社会保険料の金額

特定 老人 人 人 特別 人 人

「家庭調書」(抜粋)

⑤家族及び所得

職業	勤務先等	所得種別	就職年月 (該当欄に○を記入)		給与収入 年金・生活保護費 諸手当含む (年額)	給与以外の所得 (年額)
			R3.1.1 以前	R3.1.2 以降		
会社員	(株)〇〇〇 〇〇〇年金	給与 年金	○		3000千円 1000	←千円

令和3年分確定申告書Bの例

令和3年分確定申告書Bの例

令和〇〇年分の所得税及び復興特別所得税の申告書B

第一表

収入等	給与	17,522,800
収入等	年金	2,028,000
収入等	一時所得	1,300,000
所得金額	合計	58,425,460

第二表

所得の内訳

給与	〇〇株式会社	1,752,280
年金	〇〇厚生年金	2,028,000
一時	〇〇〇保険	1,300,000

第三表以降もあれば提出

源泉徴収票も併せて提出

家庭調書の⑧臨時所得に記入し、支払通知等を提出

給与収入欄に記入

「家庭調書」(抜粋)

職業	勤務先等	所得種別	就職年月 (該当欄に○を記入)	給与収入 (年額)	給与以外の所得 (年額)
	〇〇〇株式会社	給与	○	1752千円	千円
	〇〇〇年金	年金		2028	
		営業			1484
		不動産			200

令和〇〇年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

第二表

所得から差し引かれる金額に関する事項

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類 収入金額 必要経費等 差引金額

一時	〇〇〇保険	1,300,000	300,000	1,000,000
----	-------	-----------	---------	-----------

職業事従者に関する事項

職業事従者の氏名	個人番号	勤続	生年月日	従事月数・程度	所得の内訳	専従者給与(除税)
妻	※個人番号は複写されません	妻	12月	1,200,000		

住居税・事業税に関する事項

家族及び所得

家庭調書に全員を記入

4月1日時点で「別生計」になる者は、健康保険証(写)と住民票を提出

アルバイト・奨学金状況調の記入例

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

アルバイト・奨学金状況調

記入日

令和 年 月 日

所 属	学 年	学 籍 番 号
学部 研究科 / 学環 教育部		記入しない

学生氏名 _____

該当する□に✓をつけること。

1. アルバイト

アルバイトの状況

アルバイトをしている ← 記入日現在で継続している場合記入。

現在のアルバイトの始期

令和3年1月1日以前 → 令和3年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。

令和3年1月2日以降 → 下記にアルバイト先で証明を受けること。

アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期 令和 3 年 4 月～

支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額) **38,000円** × 12ヶ月 = 年間支給(見込)額 **456,000円**

この年額を家庭調書の「給与収入」欄に記入。

アルバイトの期間及び金額について証明します。 令和〇〇年 〇 月 〇 日

住所 富山県富山市〇〇町〇〇〇〇

社名 (株)〇〇〇〇 証明担当者 〇 〇 〇 〇 (印)

TEL (〇〇〇)〇〇〇 - 〇〇〇〇 必ず証明印をもらおう。

2. 令和3年4月以降における奨学金の状況（貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。）

<input checked="" type="checkbox"/> 奨学金を受給している	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始 期	終 期
返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	<input checked="" type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	51,000円	R2年 4月	R6年 3月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input checked="" type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input checked="" type="checkbox"/> 給与	〇〇財団 (留学生のみ記入) 富山県国際交流 ・ 学習奨励費	30,000円	R2年 4月	R6年 3月
<input type="checkbox"/> 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を現在受給も申請もしていない (理由 _____)					

3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	30,000円	食 費	45,000円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	52,000円
アルバイト	38,000円	交通費	1,000円
奨学金(日本学生支援機構)	51,000円	学用品	5,000円
奨学金(〇〇財団)	30,000円	書籍代	2,000円
その他()	円	その他(医療費等)	44,000円
合 計	149,000円	合 計	149,000円

※収入合計と支出合計は金額が一致するよう記入。自宅通学の場合も記入必要。

事情説明書の記入例

令和 4 年度入学料免除申請にかかる事情説明書（私費外国人留学生用）					
平成 令和	○ 年度入学	フリガナ	○○	○○	
	工学部 工学 研究科 学環 ○○ 専攻 プログラム	アルファベット	○○○	○○○○	
学籍番号	記入しない	氏名	○	○ ○	
		生年月日	○○ 年	1 月 1 日生	(28 才)
国 地域	中 国	本人住所	〒 930 - 0887 富山市五福1区○-○-○ 富山ハイツ○○○号室 TEL 076 (445) ○○○○ 携帯 090 - 1234 - ○○○○		
本国家族からの送金が困難な事情や日本へ入国時と現在で状況がどのように変わってきているかを具体的に記入。 免除願と別の内容で					
本国家族から送金が困難な事情					
父は定年になり年間○万円の年金生活、工場に勤務する母の年収は年間○万円であり、兄は専門学校へ通学しているので、親から私に送金することはできません。					
日本へ来た時と現在でどう状況が変わってきているか					
留学前、私は会社で働いて来日する経費を貯金していたのですが、来日1年目の東京での語学研修でほとんど使ってしまいました。奨学金とアルバイトが生活費の大部分ですが、時間的制約から、アルバイトをこれ以上できません。奨学金も2つもらい、これ以上は望めません。					
所 見 ・ 推 薦 書	学力基準である標準修得単位数（申請する際に修得しておかなければならない単位数）を満たしていることを確認しましたので、以下のとおり推薦します。				
	学業への取り組み態度、人物評価、家計状況等を記入 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 所見・推薦書の欄については、助言教員・指導教員に記入を依頼すること。 （単位数も必ず確認すること） </div>				
所属学部等		職名		教員氏名	㊟

令和4年度入学料免除等申請書類送付書

富山大学受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

入学料免除等申請は、この「令和4年度入学料免除等申請書類送付書」に受験番号及び提出書類の確認欄に✓を記入し、この送付書と入学料免除関係書類等をクリップ等でとめ、角形2号の封筒（もしくは「入学料免除申請用封筒」）に入れて提出すること。

◎太線枠内の書類に不足がある場合は受理しません。

入学料免除等申請書類の種類		依頼先	確認欄
全申請者が提出	入学料免除願（対象者）	/	
	入学料納付猶予願（申請希望者）		
	家庭調書	/	
	アルバイト・奨学金状況調		アルバイト先
	結果通知用封筒（システム利用者は不要）送付先等を明記し120円分の切手を貼付		
日本人学生の申請者	同居別居を問わず、申請者（学生）と生計を一にする世帯全員（就学者を除く）の所得課税証明書又は非課税証明書（コピー不可）※主婦、高齢者、無職者等も必要 令和2年1月から12月までの収入金額・控除額・税額が明記されているもの （所得がない場合は0円と記載されているもの）	市区役所又は町村役場	
	外国人留学生の申請者	指導教員	
	入学料免除申請にかかる事情説明書	市区役所又は町村役場	
	本人及び同居の家族の所得課税証明書又は非課税証明書（コピー不可）	アルバイト先	
申請者が返済の必要のない奨学金を受けている場合	令和3年度及び令和4年度給付型奨学金受給者	・決定通知書の写（返済の必要のない奨学金の給付月額、期間がわかるもの）	奨学金交付機関等
給与受給者 （パート・アルバイト含む）	令和3年1月1日以前から継続して勤務している場合	・源泉徴収票の写（令和3年分） ※複数の勤務先がある場合は、すべて提出すること	勤務先等
	令和3年1月2日以降に就職した場合	・源泉徴収票の写（令和3年分） ・給与支払（見込）証明書（家族用）	
	令和3年1月1日以降に退職し、無職の場合	・源泉徴収票の写（令和3年分） ・前職の退職金等に関する申立書 ・退職所得の源泉徴収票（退職金がある場合） ・無職申出書	
	令和3年1月1日以降に退職し、転職（再就職）した場合	・源泉徴収票の写（令和3年分）※前職と現職の両方 ・給与支払（見込）証明書（家族用） ・前職の退職金等に関する申立書 ・退職所得の源泉徴収票（退職金がある場合）	
年金等受給者	公的年金受給者 （国民、厚生、共済、恩給）	・源泉徴収票の写（令和3年分）又は ・最新振込金額がわかる通知書（写）	日本年金機構等
	遺族・障害年金受給者	・最新の改定通知書又は振込通知書の写	
生活保護費等受給者	・保護決定（変更）通知の写		
諸手当・給付金等受給者	児童手当受給者	・支給通知書又は受給金額がわかる証明書（写） （最新の金額がわかるもの）	市区役所又は町村役場
	児童扶養手当 特別児童扶養手当受給者		
	失業給付金等受給者	・雇用保険受給資格者証の写	ハローワーク
	傷病手当金	・傷病手当金振込通知書（受給分すべて）	健康保険組合等
給与以外の所得受給者 ・事業（営業等、農業） ・利子 ・配当 ・不動産 ・雑所得 ※個人年金、シルバー人材センターからの支給等 ・譲渡所得等	確定申告の申告者	・令和3年分 確定申告書控の第一表、二表、三表（ある場合のみ）及び添付書類の写（記載内容に別紙のとおりと記載がある場合は別紙も提出）	税務署
	市民税・都道府県民税の申告者	・令和4年度 市民税・都道府県民税申告書の写	市区役所又は町村役場
	臨時所得がある者	・生命・損害保険等の一時金、保険の満期金等の支払日及び金額がわかる書類（支払を受けた金額、支払年月日、払込済み保険料が記載されたもの）	保険会社等
	養育費、親戚等からの援助がある者	・申立書（A4サイズ）を作成	
	その他		

※裏面に続く

※表面から続く

入 学 料 免 除 等 申 請 書 類 の 種 類			依頼先	確認欄
無職者のいる世帯 (就学者を除く)	15歳以上で無職の者	・無職申出書(原則無職の者本人が記入) ※専業主婦(夫)・予備校生含む		
母子・父子世帯	控除の有無に関係なく 母子・父子世帯全員	・母子・父子世帯確認書		
障害者のいる世帯	障害者全員	・障害者手帳の写(障害の級別、氏名の記載した部分)	都道府県等	
長期療養者のいる 世帯 (申請時において6ヶ月以上の療養期間が対象。ただし、現在、療養を終えたものは除く)	病気等の療養者、 要介護認定・要支援認定者	・長期療養者にかかる控除申請書 ※提出が無い場合、控除しません。		
		医療機関等 への支払 ・6ヶ月以上の療養が確認できる医師の診断書(コピー不可) ・最近6ヶ月分の医療費の領収書の写	病院等	
	介護サービス の事業提 供者等 への支払 ・介護サービス計画(ケアプラン)の写 ・最近6ヶ月分の介護サービスに経常的に支出した自己負担額の領収書の写(食事代、雑費等を除く)	介護支援事業者等 介護サービスの事業提供者等		
	高額療養費、保険等の補填がある者	高額療養費、保険などで補填された金額がわかる書類	市区町村等	
主たる家計支持者が別居している世帯	別居による特別な支出がある者	・主たる家計支持者別居にかかる控除申請書 ※提出が無い場合、控除しません。		
		・最近6ヶ月分の住居費、光熱水費等の領収書の写 ・家計支持者の住民票 マイナンバーの記載のないもの ・勤務先の辞令(写)等 別居を強いられている理由のわかる書類	都道府県等 その他保管中のもの	
風水害等により被災した世帯	該当者全員	・り災(被災)証明書	市区町村・消防署	
	被害額	・領収書、請求書等	業者等	
	保険等で補填	・支払証明書	保険会社等	
	確定申告の申告者	・確定申告書A又はBのそれぞれ第一表と第二表の控の写	税務署申告書類の写	

令和4年度における在学・在籍の証明が必要なため、4月18日(月)までに提出する書類

該 当 者 の み 提 出	高校生以上の就学者がいる場合 ※専修学校生を含む ※申請者(本人)分は不要	国立学校在学者	・在学状況等証明書 発行日が4月1日以降の証明書を提出すること	所属の国立学校
		公・私立学校在学者	・在学証明書 【所属の公・私立学校指定の様式】 発行日が4月1日以降の証明書を提出すること	所属の公・私立学校
	4月に就職する者	・給与支払(見込)証明書(家族用) 【本学の様式】	勤務先	
	兄弟姉妹等で令和3年1月以降に別居独立した人がいる場合	・健康保険証(両面の写) ・住民票(コピー不可) ※家族と別の住所であることが確認できること	最新のもの 市区役所又は町村役場	

(2号様式)

令和 年 月 日

富 山 大 学 長 殿

本	令和 4 年 月入学							
	学 部 研究科 学 環 教育部						学科(課程) 専 攻 プログラム	
	学籍番号							
人	住所(〒 -) (下宿等)							
	フリガナ 氏名 (自署)							
学 資 負 担 者	住所(〒 -)							
	フリガナ 氏名 (自署)							
	本人との続柄							

入 学 料 納 付 猶 予 願

下記により令和4年度入学料の延納を受けたいので、学資負担者連署の上お願いします。

記

- I 延納方法 令和4年8月31日まで延納
(又は本学が指定する日のうち、いずれか早い日)
- II 理 由(具体的かつ詳細に記入すること)

家庭調書

令和4年4月1日現在

※申請者(学生) 本人が家計の状況をよく理解した上で、太枠の中を記入すること。

① 所属 学部 研究科/学環 教育部 学科(課程) 専攻 プログラム 学籍番号
② 氏名 フリガナ 通学区分 自宅・自宅外
③ 住所等 本人住所等 学資負担者 連絡先 TEL () e-mail

大学認定(記入)欄
世帯人員 人
独立生計者 有・無
生活保護世帯 有・無
非課税世帯 有・無
ひとり親 有・無
多子世帯 有・無
Jasso給付 有・無
区分 I・II・III・外・旧

所得に関する事項

Table with columns: 続柄, 氏名, 年齢, 職業, 勤務先等, 所得種別, 就職年月(該当欄に○を記入), 給与収入(年金・生活保護費・諸手当を含む)(年額)千円, 給与以外の所得(年額)千円.

Table for 別居者に印 (Residence of students). Columns include: 続柄, 氏名, 年齢, 在学学校名, 学年, 通学区分, 国立学校就学者のみ記入 (前年度免除結果, 授業料), 申請者の配偶者に所得がある場合のみ記入 (勤務先名, 給与収入, 給与以外の所得), 就学者控除.

⑧ 臨時所得 氏名() 本人との続柄() 支払金額() 千円
⑨ 生活保護世帯 生活保護費支給証に記載の被保護者氏名() 世帯人員() 名
⑩ 主たる家計支持者無職・失業 無職・失業の年月() 年 月 日 無職・失業の理由()

特別控除に関する事項

Table with columns: 項目 (母子・父子世帯, 障害者, 長期療養者, 家計支持者別居, 風水害等の災害), 内容, 該当・非該当.

この書類は申請者全員が提出しなければなりません。

アルバイト・奨学金状況調

所属	学年	学籍番号					
学部 研究科/学環 教育部							

令和 年 月 日

学生氏名 _____

該当する□に✓をつけること。

1. アルバイト

アルバイトの状況
<input type="checkbox"/> アルバイトをしている
現在のアルバイトの始期
<input type="checkbox"/> 令和3年1月1日以前→令和3年分給与所得の源泉徴収票(写)を添付すること。
<input type="checkbox"/> 令和3年1月2日以降→下記にアルバイト先で証明を受けること。
<input type="checkbox"/> アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明 (複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。)

期間 始期	年	月	～	
支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額)	円×12ヶ月＝年間支給(見込)額			円
アルバイトの期間及び金額について証明します。				令和 年 月 日
住所			
社名			証明担当者 (印)
TEL	()			-

2. 令和3年4月以降における奨学金の状況 (貸与・給与を問わず、すべての奨学金について記入。)

<input type="checkbox"/> 奨学金を受給している	区分	奨学金の名称	金額(1ヶ月)	始期	終期
返済しなくてもよい奨学金のみ裏面に受給額のわかる通知等を添付し、年額を家庭調書に記入。	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与	独立行政法人 日本学生支援機構	円	年 月	年 月
	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給与		円	年 月	年 月
		(留学生のみ記入) 富山県国際交流・学習奨励費	円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を申請中			円	年 月	年 月
<input type="checkbox"/> 奨学金を現在受給も申請もしていない (理由)					

3. 本人の1ヶ月分の生活費(見込み) 必ず記入すること。

収 入		支 出	
家庭からの給付・送金	円	食費	円
預貯金等の取り崩し	円	住居費	円
アルバイト	円	交通費	円
奨学金 ()	円	学用品	円
奨学金 ()	円	書籍代	円
その他 ()	円	その他 ()	円
合 計	円	合 計	円

※収入合計と支出合計は金額が一致するよう記入。自宅通学の場合も記入必要。

富 山 大 学
入学料免除添付書類

所 属	学年	学 籍 番 号	氏 名
学 部 研究科/学環 教育部			

この書類は私費外国人留学生が、富山で同居する家族の証明のために使用します。

アルバイト状況調（私費外国人留学生家族用）

令和 年 月 日

家族氏名 _____

該当する□に✓をつけること。

※アルバイト

アルバイトの状況

- アルバイトをしている
 アルバイトをしていない

※アルバイト先の証明（複数箇所のアルバイト先で証明を受ける場合は、この用紙をコピーすること。）

期間 始期	年 月～
支給平均月額 (最近3ヶ月の平均月額)	円×12ヶ月＝(年間支給(見込)額 円)
アルバイトの期間及び金額について証明します。	
住所	令和 年 月 日
社名	証明担当者 印
TEL ()	—

※ 部数が不足する場合は、当様式をコピーして使用すること。

富山大学 入学料免除添付書類	所属	学年	学籍番号				氏名
	学部 研究科/学環 教育部						

給与支払（見込）証明書（家族用）

給与事務担当者 殿

就業者氏名 _____

富山大学に在学する私の（続柄） _____（学生氏名） _____ が授業料免除を申請するため必要ですので、下記の事項について証明くださるようお願いいたします。

記

該当する□に✓を付け必要事項を記入してください。

採用 _____ 年 _____ 月 _____ 日（この証明書は、令和3年1月2日以降の採用者に必要です。）

区分 常用 パート その他（ _____ ）

	年	月	総支給額	記入上の注意事項及び大学認定（記入）欄
給 与			円 ① (内 通勤手当 _____ 円)	給与について最近3ヶ月の支給額を記入してください。 採用1ヶ月に満たない場合は1ヶ月フルに就業する場合の支給見込額を記入してください。 平均支給月額 (①+②+③) ÷ 3 = _____ 円 ④ (大学で記入します)
			円 ② (内 通勤手当 _____ 円)	
			円 ③ (内 通勤手当 _____ 円)	
賞 与	<input type="checkbox"/> 有	年間支給（見込）額 _____ 円	賞与「有」 ・平均支給月額 ④ × 12 + (_____) = _____ 円 ・平均支給月額 ④ × (_____) = _____ 円 ・平均支給月額 ④ × 16 = _____ 円 (大学で記入します)	
		又は 年間約 _____ ヶ月分		
	<input type="checkbox"/> 無		賞与「無」 ・平均支給月額 ④ × 12 = _____ 円 (大学で記入します)	
				年間支給見込額 _____ 円 (大学で記入します)

上記のとおり証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

住 所 _____

会社名 _____ 印

連絡先 Tel _____ - _____ - _____

※ 部数が不足する場合は、当様式をコピーして使用すること。

※ 退職した本人が記入すること。

富 山 大 学

入学料免除添付書類

所 属	学年	学 籍 番 号						氏 名
学 部 研究科/学環 教育部								

令和 年 月 日

退職金等に関する申立書

住所

氏名

(会社名等)

私は、 年 月 日に _____ を

退職しました。退職金及び失業給付金については下記のとおりです。

記

1. 退職金の支給状況について（該当する□に✓を付け必要事項を記入。）

- 退職金支給なし（理由 _____）
 退職金支給あり（必ず退職所得の源泉徴収票のコピーを添付。）

退職金支給額 _____ 円 「退職所得の源泉徴収票」の支給金額を記入。

退職金支給年月日 _____ 年 月 日

2. 失業給付金の受給状況について（該当する□に✓を付け必要事項を記入。）

- 失業給付金を受給していない。
理 由 雇用保険未加入
 受給資格を満たしていない
 その他（理由 _____）

失業給付金を受給している。（雇用保険受給資格者証のコピーを添付。）

①基本手当日額 _____ 円 ※雇用保険受給資格者証で確認の上記入。

②所定給付日数 _____ 日

③受給額（①×②） _____ 円

※ 部数が不足する場合は、当様式をコピーして使用すること。

富 山 大 学 入学料免除添付書類	所 属	学 年	学 籍 番 号					氏 名
	学 部 研究科/学環 教育部							

令和 年 月 日

無 職 申 出 書

住所

.....

氏名（原則自署）

.....

代筆の場合は理由を明記（ ）

私は無職であることを申し出ます。
なお、所得課税証明書も併せて提出します。

※専業主婦（夫）や予備校生等も本書と所得課税証明書を提出する必要があります。

富 山 大 学

入学料免除添付書類

所 属	学年	学 籍 番 号					氏 名
学 部 研究科 / 学環 教育部							

令和 年 月 日

母子・父子世帯確認書

住所

母又は父

氏名

母子・父子世帯確認

該当する□に✓を付け必要事項を記入してください。

<input type="checkbox"/> 夫と [<input type="checkbox"/> 生別 <input type="checkbox"/> 死別] (年 月)		
<input type="checkbox"/> 妻と [<input type="checkbox"/> 生別 <input type="checkbox"/> 死別] (年 月)		
児童扶養手当の受給の有無 (特別児童扶養手当を含む)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合 月額 年額 円× 12月= 円
親戚・知人からの援助の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合 (続柄) 援助者氏名 月額 年額 円× 12月= 円
生別の場合	養育費の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合 月額 年額 円× 12月= 円
死別の場合	遺族年金受給の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合 1回当たりの支払額 年額 円× 回= 円

※申請者(学生)と同一生計の母又は父が記入してください。

※母子・父子控除については本学で確認して決定します。

※ 部数が不足する場合は、当様式をコピーして使用すること。

富山大学	所 属	学年	学 籍 番 号	氏 名
	学 部 研究科/学環 教育部			

※兄弟姉妹等が国立学校に在学している場合、その所属学校で証明を受けること。

在学状況等証明書

国立学校授業料免除事務担当者 殿

申請者の
兄弟姉妹等

学 校 名 _____ 年次 _____
学生番号等 _____
氏 名 _____

富山大学に在学する私の(続柄) _____ (氏名) _____ が授業料免除を申請するため必要ですので、下記事項について証明くださるようお願いいたします。

記

該当する□に✓を付け必要事項を記入してください。

1. 令和4年度在学状況

学 校 種 別	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 高等専門学校	<input type="checkbox"/> 高等学校
	<input type="checkbox"/> 専修学校(専門課程)		
通 学 状 況	<input type="checkbox"/> 自宅	<input type="checkbox"/> 自宅外	

2. 令和3年度授業料免除実施状況

前 期	<input type="checkbox"/> 全額免除	<input type="checkbox"/> 半額免除	<input type="checkbox"/> 不許可	<input type="checkbox"/> 申請なし
	<input type="checkbox"/> 修学支援新制度による減免(/ 3免除)			
後 期	<input type="checkbox"/> 全額免除	<input type="checkbox"/> 半額免除	<input type="checkbox"/> 不許可	<input type="checkbox"/> 申請なし
	<input type="checkbox"/> 修学支援新制度による減免(/ 3免除)			
	<input type="checkbox"/> 令和4年度入学者のため、該当しない。 ※ただし、大学院への学内進学者については、前期・後期の授業料免除状況を証明願います。			

※高等学校、高等専門学校等に在学する者のうち、就学支援金により前年度の授業料が減免されている場合は、「申請なし」に✓を付けてください。

免除前の年額

令和3年度授業料年額 _____ 円

上記のとおり証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学 校 名 _____

証明担当者 _____ (印)

電 話 番 号 _____

※4月入学者は4月1日以降、10月入学者は7月1日以降に証明を受けたものを提出すること。

※この台紙には源泉徴収票・年金支払通知等のA4より小さな書類をはり付けてください。用紙が不足する場合はA4の用紙を利用してください。

富 山 大 学
入学料免除添付書類

所 属	学年	学 籍 番 号	氏 名
学 部 研究科/学環 教育部			

入学料免除添付書類台紙

続 柄 〔 〕	貼 付 欄 (添付書類の上部をのり付けしてください。)
------------	--------------------------------

続 柄 〔 〕	貼 付 欄 (添付書類の上部をのり付けしてください。)
------------	--------------------------------

続 柄 〔 〕	貼 付 欄 (添付書類の上部をのり付けしてください。)
------------	--------------------------------

続 柄 〔 〕	貼 付 欄 (添付書類の上部をのり付けしてください。)
------------	--------------------------------

令和4年度入学料免除・入学料納付猶予辞退届

令和4年 月 日

学籍番号.....
学 部 学科
研究科 / 学環 専攻
所 属 教育部 プログラム
氏 名.....

令和4年度 {入学料免除・入学料納付猶予} 申請を下記の理由により辞退します。

※該当するものに○を記入

記

辞退理由

(申請者本人が記入)

※入学料免除・入学料納付猶予申請を辞退する場合は、「入学料免除（納付猶予）願」及びこの「辞退届」を記入し、免除担当窓口に提出すること。